

# 調査員物語

## 情報収集するには「本」か「酒」か?…の巻

私、米田和典と申します。本来専門は魚類だったのですが今や猛禽類のエキスパートにもなりました。



以前は勉強のために仕事以外でもいろんな調査に参加して技術を磨いたものです。



そんな現場では新人の私は気づかずに「まづかい酒」を買って出ました。



現場においてより良いデータを得るにはやはり、参加している人たちと良いコミュニケーションをとれるかが大事。

ところが実際にこの世界、すいぶんいろんな人がいらっしやいますからね〜(含:自分)結構ムズカシムです。

うーん、人と人の立ちまわりは「本」などで勉強するってわけにもいかんし、気苦労が多いな。いい方法ないかな?



…ってことは宿の夕飯後はやっぱりアレか?



あ? ポクですか? 〇〇に〇年勤めてまは、専門は〇〇で…ええ別に大したことないですよ、アハハ

適度に酔いもまわり垣根が取り払われてきていい感じですよ。

でも、ここで優秀な「まづかい酒」は調子に乗って酔いつぶれてはイケマセン。



…と言え酒でダメすみだいに思われたら困ります。前向きな話ですからね!



調査手法を伝授してくれたり、機材の使い方のコツを教えてください、むしろ勉強になります。

総じて良い人ばかりなので相互の向上のためには敵身的でとてもありがたいです

泊まりがけの調査の良いところはこのような信頼関係を築く出会いの場でもあることです。



原案、米田和典 マンガ、飯場要

じゃんじゃん、おしまい